

2学期始業式式辞「行事の2学期」

みなさん、おはようございます。

朝からみなさんがいい顔で登校してくれてとてもうれしかったです。新学期に向けて、しっかり準備してきたのだろうと思います。今年の夏は、北陸ブロックで全国大会が開催され、城端中学校からもソフトテニス競技で3年生と2年生のペアが出場しました。地区や県では、上位の力をもつ2人でしたが、北信越や全国のレベルはさらに高いものでした。陸上や水泳競技で北信越大会を経験した人たちも含め、大きな舞台で経験できたことは、参加した人や周りの仲間を大きく成長させてくれると思います。

さて、中学校の2学期は「行事の2学期」と言われ、様々な行事が立て続けにやってきます。ただ近年、これまでと同じように行事を行っていくことが難しくなっているのも事実で、続けていくためにいろいろな工夫がなされています。

今年の変更点の1つは、部活動の新人大会です。これまで9月に行われていたものが、競技ごとに11月まで分散して行われます。それにより、2年生の「14歳の挑戦」は、9月初旬の実施となります。また、県の新人大会は今年度から行われず、競技によってカタチを変えて、行われていく予定です。

体育大会や学習発表会も少し変わっていきます。

コロナ以降、これらの行事を半日開催とする中学校が増えています。どこの学校も生徒数が減り、係や種目の数、出場できる種目数に無理が生じてきているためです。半日にしては、という意見もありましたが、種目数や係編成を工夫しながら、できるだけ昨年度に近い形で実施していこうとしています。

ただ、学年議会での企画や準備、練習に大きく負担がかかっていた学

年種目は、1種目の時間で行うことにしました。どのような時間の使い方にするかは学年に任せていますが、1つ分の種目に集中し、学年の知恵を合わせ、行動力や結束力等、学年の力がみえる学年種目を発表してもらいたいと思っています。また、みなさんが得意な競技で活躍できるよう選択種目を増やしています。

学習発表会で行われる合唱コンクールは、今年度から、各クラス1曲の発表としました。これまで2曲を発表していましたが、学習発表会の準備や係活動、作品作りなどと重なり、個人や学級への負担がとて大きくなっていました。短い時間で2曲も仕上げなければならず、合唱への意識が高まっていないと感じられることもありました。いろいろ考えてみましたが、練習期間や音楽の授業は増やすことはできず、今年度からは1曲に集中して、より完成度が高く、城中生の力が凝縮した、聴きごたえのある合唱を発表してもらいたいと思っています。

もちろん、2学期は行事だけではありません。

それに伴って、学級や学年、生徒会や部活動の集団の力、さらに学力も一番伸びるときです。オープンハイスクールを経験した3年生は自分の進路選択に向けて、さらに成長するときでもあります。

みなさんが自分を高める目標をもち、一つ一つの経験を大切にして、自分を成長させていく、そんな2学期にしていけるよう、みなさんを応援し、精一杯支えていきたいと思ひます。

2学期もどうぞよろしくお願ひします。